

オール岡山での取組促進！

岡山県における社会福祉法人による地域公益的取組の推進に向けて

岡山県地域公益活動推進センター 事業企画について

県内全体に取組を広げるための県域センターの事業展開

＜平成30年度具体的事業＞

オール岡山での取組促進

中期事業計画の柱

5年計画（H30～34）

▼県内全体に取組を広げるための「県域センター」の事業展開

気運づくり

I. 県域ネットワークづくり

－県地域公益活動推進センター設立

県域ネットワークをつくり
県内全体の気運を高めます！

モデルづくり

II. 制度の狭間の問題解決に向けた研究開発

取組モデル開発し、
ノウハウ提供します！

市町村域
ネットづくり

III. 市町村域の社会福祉法人 ネットワークづくり

市町村域で連携するネットワー
クづくりを応援します！

ひとづくり

IV. 人材育成・理解促進事業

取組に必要な人材育成
を支援します！

見える化

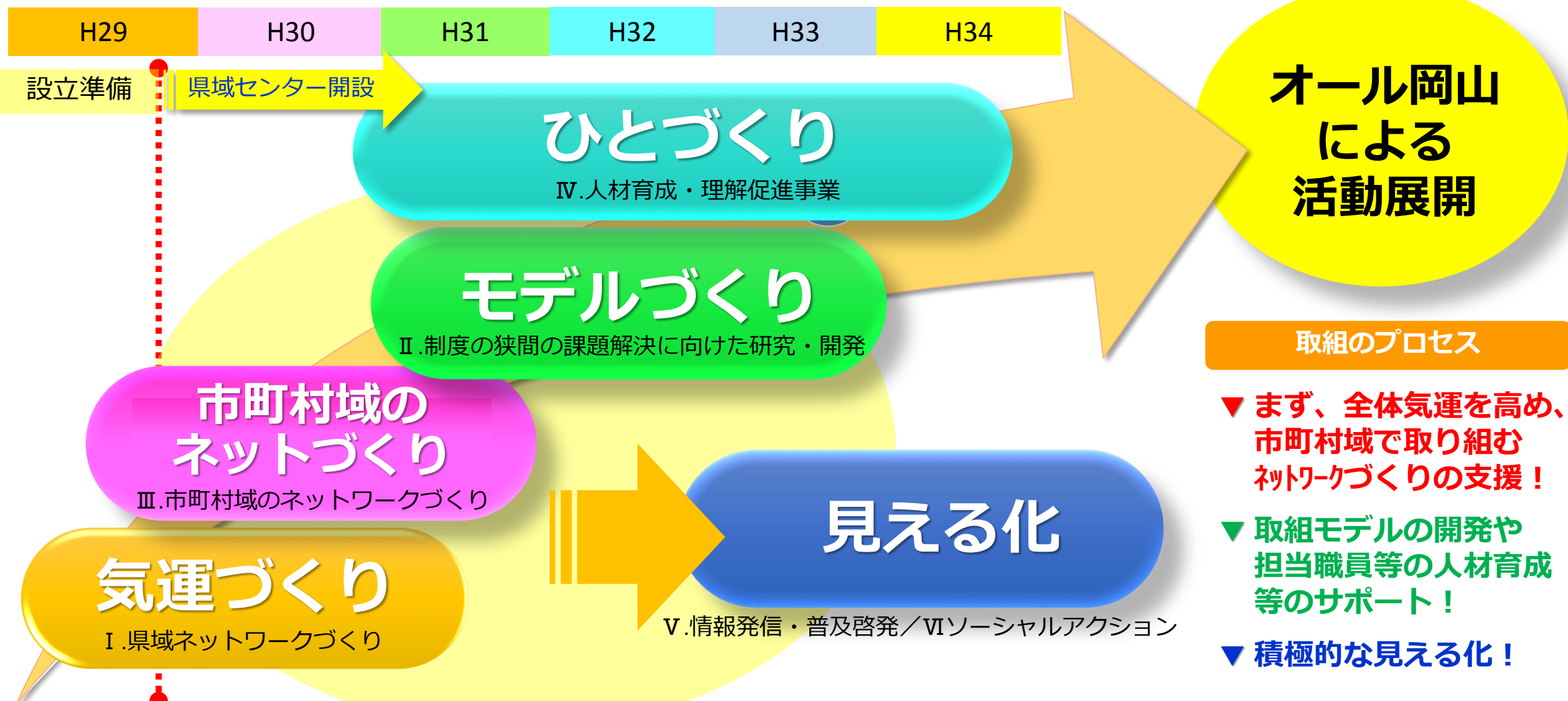
V. 情報発信・普及啓発 VI. ソーシャルアクション

多様な手段を活用して
「見える化」を行います！

オール岡山での取組促進 事業展開の流れ

事業展開プロセス

中期事業計画／5年計画（H30～34）

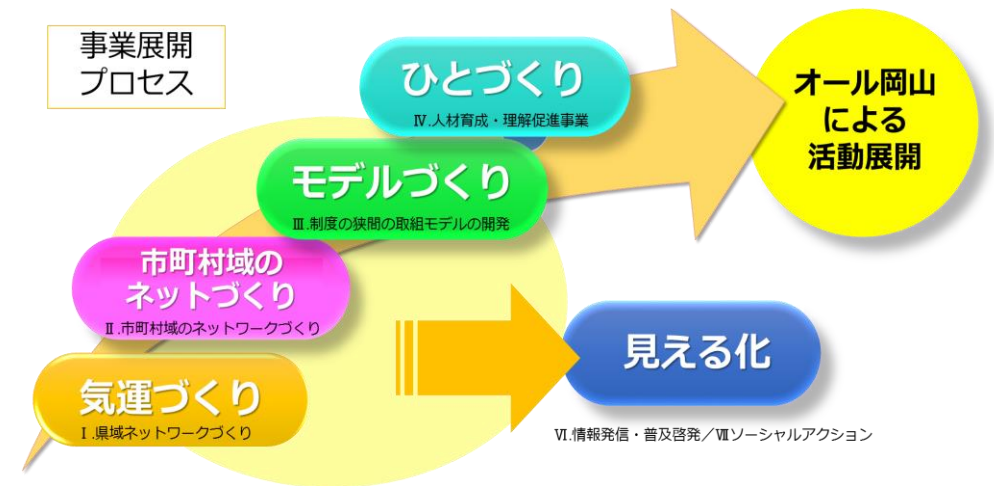


オール岡山での取組促進に向けて

目指すべき事業目標

5年計画（H30～34）

▼県域センターとして、具体的な事業目標を設定し、皆様との共有のもと、計画的な事業展開を図ります。



気運づくり

- ・ 県内福祉施設・事業所、社協加入率 70%以上【H31末時点】

市町村ネットづくり

- ・ **15市域でのネットワーク設置** 【H31末迄に】

モデルづくり

- ・ 5つ以上のモデル事業の開発、ノウハウ提供・普及展開【5年間で】

ひとづくり

- ・ 地域公益活動の推進に向けた各種講座・研修等の実施

見える化

- ・ 気運の見える化：センター加入率 70%以上【H31時点／加入率】
- ・ 取組の見える化：**15市町村域ネットワークによる具体的な事業のPR**【H31末迄に】
- ・ 調査による見える化：「している」回答 70%【H31調査時点】
- ・ 民生委員児童委員等への取組の知名度調査（仮称）の実施 ※検討中

期待される効果・成果

気運づくり

- 県域センターへの加入を通じて、県内の社会福祉法人全体（オール岡山）の合意形成が図られ、取組へ向けた気運が高まっていきます。
- **市町村域では、市町村社協をプラットフォームとした社会福祉法人ネットワークによる具体的な取組が、県内全域で展開され、地域住民・関係者等への認識も深まります。**

市町村域の
ネットづくり

ひとづくり

- 制度理解や取組モデルに関する講座・研修、情報提供により、組織・職員全体の認識の共有化がなされるとともに、必要なノウハウ・スキルを持った職員育成が図られます。

モデルづくり

見える化

- 社会福祉法人全体（オール岡山）としての取組姿勢が評価されるとともに、地域社会においては、社会福祉法人の本旨にもとづく制度の狭間への取組が、地域住民・関係者等に伝わり、改めてその存在意義が高まっていきます。

気運づくり

県内全体の取組に向けた気運を高めます！

県域ネットワークづくり

「オール岡山」での取組促進のためには、まず県内全体での合意形成を図り、取組に向けた全体気運を高める必要があります。

平成30年度具体的事業

➤ 運営委員会・正副代表会の開催（年2回）

適正なセンター運営のため、定期的に経営状況や経営上の諸課題等について協議を行います。

➤ 地域公益推進会議の開催（年6回程度）

運営委員会で承認された実務者を中心に構成し、県内ニーズ分析や先駆事例の収集・検証等により、各種事業の企画立案とともに、事業全般における調整、実施総括を行います。

➤ 課題別検討部会の開催（1テーマにつき年3回程度）

会員の主体的な参画のもと事業推進を行うため、課題別検討部会を設置し具体的な取組みの検討協議を行います。

（1）モデル事業部会 （2）リーディング事業部会 （3）市町村ネットワーク部会

市町村域で連携するネットワークづくりを応援します！

市町村域の ネットづくり

市町村域の社会福祉法人 ネットワークづくり

各法人の実情に応じた、より少ない負担での取組展開を図るためには、施設・事業所、社協等のネットワークで取り組むのが最適です！

平成30年度具体的事業

➤ 市町村域ネットワークづくり助成事業の実施

準備段階や設立当初の運営・事業費の確保が課題となることから、その一部経費を助成します。＜10万円×2カ年＞

➤ 連携・協働ネットワークづくりに向けたアウトリーチ支援

訪問ヒアリング等により、立上げに向けた助言やネットワーク運営における事務局支援・ノウハウ提供を行ないます。

➤ 市町村ネットワークの取組状況調査（隔年）

ネットワークの組織化や取組状況の実態をまとめ、推進課題整理やノウハウ収集を行います。

➤ 市町村域の連携・協働ネットワークづくり説明会の開催（年3回）

市町村域の連携の意義や事務局の役割等に関する説明・協議を行います。また、市町村域ネットワーク同士の情報交換や相互の取組支援のため「市町村ネットワーク部会」を開催します。

モデルづくり

取組モデル開発し、ノウハウ提供します！

制度の狭間の課題解決プロジェクト

(制度の狭間の課題解決に向けた研究・開発)

制度の狭間の課題へ向けた取組促進には、現場の創意工夫ある取組や先進的な実践に関するノウハウ・スキル等が必要です。「地域共生社会の実現」の視点も踏まえて研究・開発を行います。

モデルつくる研究・開発

モデル開発

- 課題別部会での検討
- モデル指定会員への経費助成
- モデル実践の検証

広めるプロジェクトの展開

リーディングプロジェクト

- 課題別部会での検討
- ノウハウ講座の企画・開催
- 取組の手引き、事例集づくり
- 普及啓発フォーラム ...etc

ニーズ・実態把握

調査活動

“オール岡山”の実践

ソーシャル
アクション

モデルづくり

取組モデル開発し、ノウハウ提供します！

制度の狭間の課題解決プロジェクト

(制度の狭間の課題解決に向けた研究・開発)

実施体制



必要な取組テーマを企画立案



県内ニーズ分析、アイデアの持ち寄り、
先駆事例の収集・検証

モデル事業の研究・開発

課題別部会①
モデル検討A



課題別部会②
モデル検討B



リーディングプロジェクト

課題別部会③
リーディング検討A



課題別部会④
リーディング検討B



市町村域ネットづくり

課題別部会⑤
市町村域ネットワーク



連携

連携

モデルづくり

取組モデル開発し、ノウハウ提供します！

制度の狭間の課題解決プロジェクト

(制度の狭間の課題解決に向けた研究・開発)

➤ モデル事業の企画・研究

制度の狭間の課題に対して、取組み意向のある会員をモデル指定し、研究・開発助成を行います。
取組みのノウハウ・効果は「課題別部会」で検討・検証、その成果は県域へのフィードバックするとともに、提言活動へつなげます。

<テーマ例示>

- 社会福祉法人による生活困窮者への相談支援体制
- 中間的就労による受け皿のあり方モデル
- 就労準備支援（場の開拓）のあり方モデル
- 住まいの確保（一時宿泊施設、入居支援）のあり方モデル
- ひきこもり支援の仕組みのあり方モデル
- 児童養護施設退所児童等のアフターケアの仕組み
- 子どもの居場所や学習支援の仕組み ……など

(テーマ案)

● 移動支援のあり方モデルの開発（平成30-31年度）

⇒社会福祉法人と地区社協等との連携による移動支援のモデル開発

- 助成対象 基礎団体会員法人及び市町村域社会福祉法人ネットワーク
- 指 定 1テーマにつき3ヶ所
- 助 成 (期間) 最大2ヶ年 (金額) 1ヶ所あたり上限40万円

平成30年度具体的事業



※実施の詳細は「事業実施要綱」
並びに「募集要領」による。

モデルづくり

取組モデル開発し、ノウハウ提供します！

制度の狭間の課題解決プロジェクト

(制度の狭間の課題解決に向けた研究・開発)

➤ 県域におけるリーディング事業の企画・実施 ①

県内共通の地域課題の解決に向けて、“オール岡山”により取組の裾野を広げるため、実践ノウハウ・スキル等の情報提供、普及を行います。

また「モデル事業」で開発された成果も随時、県内全体への展開を図り、会員の取組支援を図ります。

□ 展開方法

テーマごとに、先行して取組む会員法人や関係団体へ参画依頼し、課題別に部会を構成します。部会で啓発・展開を図るためのプロジェクト計画を策定し、部会を中心に事業を展開します。

□ 事業例

啓発セミナーの開催，事例集作成，手引きの作成，取組支援講座の開催，調査の実施 等

＜テーマ例示＞

- 緊急一時支援（フードバンク、生活用品）プロジェクト
- 子ども食堂（子どもの居場所）プロジェクト
- 地域の居場所プロジェクト
- 認知症カフェプロジェクト
- 就労準備支援プロジェクト など

モデルづくり

取組モデル開発し、ノウハウ提供します！

制度の狭間の課題解決プロジェクト

(制度の狭間の課題解決に向けた研究・開発)

➤ 県域におけるリーディング事業の企画・実施 ②

平成30年度具体的事業

(テーマ案／平成30年度)

● 緊急一時支援（フードバンク、生活用品）プロジェクト

⇒ 地縁組織や社協、関係団体等と連携したフードドライブや生活用品のストックヤードの仕組みの展開

企画・
展開

● 子ども食堂（子どもの居場所）プロジェクト

⇒ 子どもの貧困や孤食の防止、学習支援等、子どもの育ちの支援の場を広めるプロジェクトの展開

企画

● 地域の居場所プロジェクト

⇒ 社会福祉法人と地域との連携による従来サポートされにくかった人への居場所づくりの展開

企画

県域全体への普及展開プロジェクトのイメージ

A. 緊急一時支援プロジェクト

【先行事例】

- ・ふくしネットそうじゃ(くらし応援事業)
- ・順正DFKクラブ(フードバンク事業)
- ・県内生活困窮者支援事業実施社協 等

社会福祉法人(施設)が、提供可能な資源(食料・日用品等)の提供やフードドライブの実施協力を行い、市町村社協等のコーディネートにより、生活困窮世帯等の緊急一時支援につなげる。

【展開例】



B. 居場所づくりプロジェクト(地域拠点)

【先行事例】

- ・津山市城東地区(じ・ば・子のおうち)等

社会福祉法人(施設)の提供可能な場所や人材等を活用し、身近な地域における共生型の居場所づくりを行う。機能としては「多様な住民ニーズ・課題の解決」・「連携による包括的な支援」・「コミュニティによる支えあい」等が考えられる。



【展開例】

C. 子ども食堂(子どもの居場所)プロジェクト

【先行事例】

- ・(社福)クムレ(子ども食堂及び放課後支援)
- ・笠岡市、瀬戸内市、矢掛町社協 等

社会福祉法人(施設)が提供可能な場所・食品・人材等を活用し、地域ぐるみで子どもの見守り・育ちを支える居場所づくりを行う。また、子どもの背景にある家庭の困りごと等、市町村社協のコーディネートや、社会福祉法人・地域のネットワークにより支援につなげる。



【展開例】

取組に必要な人材育成を支援します！

ひとづくり

人材育成・理解促進事業

地域の公益的取組の要件等の制度理解や地域の様々なニーズに応じた取組ノウハウ・スキルを持った職員（担当者）の育成が必要です！

平成30年度具体的事業

➤ コミュニティソーシャルワーク研修の開催

多様な専門職や地域との連携・協働や資源開発に向けて、コミュニティソーシャルワークの基本的視点や手法の習得とともに、対応困難な事例検討を行います。【2日間×1回】

➤ 地域福祉実践研修の開催

地域課題への具体的な解決に向けて、コミュニティワーク（地域づくり）に必要な考え方や戦略・手法を習得するために開催します。【年2回＋フォローアップ】

➤ コミュニティワーカースキルアップ研修の開催

制度や立場に捉われず自分ごととして地域課題に向き合い、取り組める地域福祉の担い手を発掘、育成します。
【全6回講座】

＜その他＞モデル・リーディング事業の展開支援講座，市町村域ネットワークづくり実践報告会，
地域における公益的な取組実践発表会

多様な手段を活用して「見える化」を行います！

見える化

情報発信・普及啓発 ソーシャルアクション ①

県内全体（オール岡山）での地域公益活動に対する取組姿勢や各市町村域で行われる具体的な取組を積極的にPR（見える化）する必要があります！

平成30年度具体的事業

➤ 県民、関係団体、行政等への情報発信（見える化）

社会福祉法人の気運や具体的な取組を、多様な方法で県民、各種関係機関・団体等に向けて発信します。

- ホームページの開設
- パンフレット作成配布
- ニュースレターの発行
- 報告書の発刊



＜（仮設）ホームページのイメージ＞



＜ニュースレターのイメージ＞
－東京都地域公益活動推進協議会－

多様な手段を活用して「見える化」を行います！

見える化

情報発信・普及啓発 ソーシャルアクション ②

平成30年度具体的事業

➤ 地域における公益的取組の理解促進フォーラムの開催

県民、民生委員児童委員、ボランティア・NPO、行政等の幅広い関係者に向けて、基調講義やシンポジウム等を通し、社会福祉法人が果たす役割や存在意義、県域センターの機能について理解促進を図ります。【年1回】

＜理解促進フォーラム（イメージ）＞



➤ 地域公益活動実践発表会の開催

会員施設・事業所の地域公益活動担当職員等を対象に先進事例の報告を通して、社会福祉法人の役割理解促進や取組ノウハウの取得による活動促進を図ります。【年1回】



＜活動実践発表会（イメージ）＞

➤ 県行政等との意見交換会の開催

地域公益活動推進センターの活動・事業の成果をもとに、施策化の必要な課題・事業にかかる協議・意見交換の場を県社協や各種別協議会等と連携して設けるとともに、提言活動に向けた仕組みづくりを行います。

岡山県地域公益活動推進センター H30年度 具体的事業スケジュール（イメージ）

事業名		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
運営委員会					●						(●)			●
推進会議			●		●		(●)		●		(●)		●	
モデル事業／移動支援部会						●				●			●	
リーディング事業部会	①緊急一時支援 部会				●			●				●		
	②子どもの居場所 部会					●				●		●		
	③地域の居場所づくり部会					●				●		●		
市町村ネットワーク部会				●				●				緊急一時支援部会		
市町村域ネットワーク説明会				●				市町村ネットワーク部会			●			
理解促進フォーラム													●	
取組実践発表会									●					
コミュニティソーシャルワーク研修会					●									
地域福祉実践研修			●				●							
コミュニティワーカースキルアップ研修会					●	●	●	●	●	●				

オール岡山／県域センターへの加入に向けて 会員メリットとして

▼会員加入に向けたメリットについて整理してみました。



気運づくり

県内全体（オール岡山）の社会福祉法人の取組姿勢が評価されます。

市町村域
ネットづくり

各施設・事業所、社協等による協働実施体制ができることで、より少ない負担で、お互いの強みを生かした取組がしやすくなります。また、ネットワークの立ち上げや取組の強化・充実に向けた支援が受けられます。

モデルづくり

各種の制度の狭間に関する先進モデル（取組プロセス・ノウハウ）についての情報提供が受けられます。

ひとづくり

制度理解や各種の制度の狭間をテーマとした講座・研修等の受講について会員特典が受けられます。

見える化

県域センターからの多様な手段を通じた情報発信により、県民及び各種関係機関・団体等へのPR（見える化）が行えます。